

河川で見る生き物たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

つる植物



写真 5 4 0、カナムグラ群落
10月、住吉山手



写真 5 4 1、センニンソウ
9月、住吉山手

■カナムグラ

中州で広がるクワ科のつる植物で、雌雄異株（しゅういしゅ、お花、め花は別々の株）の一年草です（写真 5 4 0）。こんなのが多年草で毎年居座られたら下草は助かりません。

■センニンソウ

テッセン、カザグルマなど庭先に植えられるキンポウゲ科のクレマチスのなかまです（写真 5 4 1）。

葉の柄が他のものに触れるとそれをからめて立ち昇る一種のつる植物です。花びらはなく、そのように見えるのは「がく」で4枚です。

■ ネナシカズラ

中州のヨモギなどの草におおいかぶさって養分を横取りする寄生植物です（写真542）。つるはソバぐらいの太さで小さな吸盤があります。

花は小さいですがよく見ると5つにさけていますが、もとの方は筒型になっていて合弁花であることが分かります。ヒルガオ科でアサガオのなかまです。

神戸の市街地ではとても珍しいものです。



写真542、ネナシカズラ
11月、住吉川

[このページのPDFファイル](#)



[トップページへもどる](#)